

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年4月4日(2022.4.4)

【公開番号】特開2020-162877(P2020-162877A)

【公開日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2020-041

【出願番号】特願2019-66450(P2019-66450)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月25日(2022.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の条件が成立することに基づいて、遊技者に有利な特別遊技状態に制御するか否かの判定を実行可能な遊技機において、

所定の演出を制御可能な演出制御手段と、

可動可能な可動役物と、を備え、

前記可動役物は、発光可能な発光部を有し、

前記演出制御手段は、

複数の段階に進行可能な進行演出を実行可能とし、

前記進行演出において、前記複数の段階のうち、いずれの段階であるかを示す特定画像を表示して、前記特別遊技状態に制御される期待度を示唆する第1示唆演出を実行可能とし、

前記進行演出において、複数の発光色のうちから、いずれかの発光色で前記発光部を発光させることで、前記特別遊技状態に制御される期待度を示唆する第2示唆演出を実行可能とし、

前記第1示唆演出で表示される前記特定画像の色と前記第2示唆演出での前記発光部の発光色が同様である場合と、前記第1示唆演出で表示される前記特定画像の色と前記第2示唆演出での前記発光部の発光色が異なる場合と、があることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載する遊技機において、

前記演出制御手段は、

前記進行演出にて前記複数の段階のうち、特定の段階に進行した場合には、特定のリーチ演出を実行可能とし、

前記特定のリーチ演出には、第1特定のリーチ演出と、前記第1特定のリーチ演出よりも前記特別遊技状態に制御される期待度が高い第2特定のリーチ演出とがあり、

前記特定の段階にて前記第1示唆演出で表示された前記特定画像の色と前記第2示唆演出での前記発光部の発光色が異なった場合には、前記第1特定のリーチ演出よりも前記第2特定のリーチ演出が実行され易いことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

40

50

JP 2020-162877 A5 2022.4.4

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の遊技機は、

所定の条件が成立することに基づいて、遊技者に有利な特別遊技状態に制御するか否かの判定を実行可能な遊技機において、

所定の演出を制御可能な演出制御手段と、

可動可能な可動役物と、を備え、

前記可動役物は、発光可能な発光部を有し、

10

前記演出制御手段は、

複数の段階に進行可能な進行演出を実行可能とし、

前記進行演出において、前記複数の段階のうち、いずれの段階であるかを示す特定画像を表示して、前記特別遊技状態に制御される期待度を示唆する第1示唆演出を実行可能とし、

、

前記進行演出において、複数の発光色のうちから、いずれかの発光色で前記発光部を発光させることで、前記特別遊技状態に制御される期待度を示唆する第2示唆演出を実行可能とし、

前記第1示唆演出で表示される前記特定画像の色と前記第2示唆演出での前記発光部の発光色が同様である場合と、前記第1示唆演出で表示される前記特定画像の色と前記第2示唆演出での前記発光部の発光色が異なる場合と、があることを特徴とする遊技機である。

20

20

30

40

50